

# 新幹線開業を活かした交流人口拡大プロジェクト

道南連携地域

## 【概要・目的】

新幹線開業により見込まれる国内外からの観光客の増加、特に東北・北関東との交流の拡大や近年のアジアを中心とした外国人観光客のインバウンドの増加に対応し、開業効果を最大限に享受するため、地域の魅力の再発見と磨き上げを行い、道南地域の魅力を積極的に発信するとともに、青森県と道南地域の広域観光圏の形成を図ります。

また、北海道縦貫自動車道をはじめとした道路や空港、港湾の整備により交通ネットワークが形成され、併せて障害のある方等に配慮したバリアフリー環境の整備により、観光やスポーツなど様々な分野で他地域との交流を進め、その波及効果によって地域の活力を高めていきます。

## 【施策展開】

### これまでの主な取組実績

#### ■北海道新幹線開業を活かした青森・道南広域観光圏の形成

- 新幹線開業後PRイベント等の実施や青函広域観光エリアの情報発信
- 観光情報や観光商品をワンストップで提供できる観光地域プラットフォームの充実・強化
- 首都圏、東北圏等での食や観光情報のPR
  - ・北海道新幹線「沿線自治体特別運賃」を活用したツアー及び縄文親子モニターツアーの実施
  - ・「世界料理学会 in HAKODATE」に併せ、青函食材見本市を開催
  - ・道南ワインアカデミーの開催
  - ・体験観光の受入体制を整備するため、農林漁業者、市町及びコーディネーター等を対象とした受入先進地での現地研修会の実施【渡島】
  - ・津軽海峡交流圏郷土芸能祭への支援【檜山】
  - ・北海道物産展を活用した観光プロモーション【檜山】
- 道南地域の交通ネットワーク整備に向けた取組の推進
  - ・交通事業者と連携した経路検索及び企画乗車券購入・決済の実証実験【渡島】
  - ・旅行会社及び旅行雑誌編集者を招へいた管内視察の実施【檜山】
- 世界遺産登録に向けた地域における機運醸成並びに観光資源としての活用の促進
  - ・空港等ゲートウェイ広告スペースを活用した世界遺産登録PR横断幕の掲示【渡島】
  - ・縄文PRトークショー（JOMONカフェ）の開催【渡島】
- 障がいのある方などに配慮したバリアフリーレジャーの推進
  - ・受入体制充実を目的とした意識醸成、観光・福祉に精通した人材育成の実施【檜山】

### 今年度の主な取組（令和2年度）

#### ■北海道新幹線開業を活かした青森・道南広域観光圏の形成

- 新幹線開業後PRイベント等の実施や青函広域観光エリアの情報発信
- 観光情報や観光商品をワンストップで提供できる観光地域プラットフォームの充実・強化
- 首都圏、東北圏等での食や観光情報のPR
  - ・観光プロモーション及びオンライン旅行商談会に参加
  - ・料理人等との産地見学会及び道南ワインアカデミーの開催
  - ・農村ツーリズム実践事例等調査の実施【渡島】
  - ・様々な主体による津軽海峡交流圏の交流連携を促進
  - ・オール檜山による道内外観光・物産プロモーションを実施【檜山】
- 道南地域の交通ネットワーク整備に向けた取組の推進
  - ・交通事業者と連携した経路検索及び企画乗車券購入・決済の実証実験の実施【渡島】
  - ・旅行会社及び雑誌社等へのセールスコールを実施【檜山】
- 世界遺産登録に向けた地域における機運醸成並びに観光資源としての活用の促進
  - ・公共交通機関等でのポスター掲示及び縄文パネル展の実施【渡島】
  - ・函館市と共催による縄文スタンプラリーの実施【渡島】
  - ・渡島の魅力を縄文文化とともに発信する動画コンテンツの制作【渡島】
  - ・縄文コンテンツを収集し、「面白さ」を重視したガイド育成用冊子の作製【渡島】
- 障がいのある方などに配慮したバリアフリーレジャーの推進
  - ・管内の民生委員協議会に出席し、ひやまバリアフリーレジャー事業PRを実施【檜山】

#### ■北海道新幹線開業を強みとしたスポーツ合宿地としての魅力発信

- 競技関連施設や宿泊施設等の情報発信
- 市町受入体制の構築支援
  - ・合宿ガイドブックを作成【渡島】

#### ■北海道新幹線開業を強みとしたスポーツ合宿地としての魅力発信

- 競技関連施設や宿泊施設等の情報発信
- 市町受入体制の構築支援
  - ・4町の主体的な事業へ移行

# 新幹線開業を活かした交流人口拡大プロジェクト

道南連携地域

## 今後の取組を進める上での主な課題

### ■北海道新幹線開業を活かした青森・道南広域観光圏の形成

- 新幹線開業後PRイベント等の実施や青函広域観光エリアの情報発信
- 観光情報や観光商品をワンストップで提供できる観光地域プラットフォームの充実・強化
- 首都圏、東北圏等での食や観光情報のPR
  - ・新型コロナウイルス感染症収束を見据えた受入体制の整備の検討※
  - ・新型コロナウイルス感染症収束後の食の新たなマーケットを見越した事業展開の再構築※
  - ・インターネットの活用等、感染状況により集客に影響を受けないイベントの開催検討※
  - ・交流人口の拡大のため津軽海峡交流圏の形成促進が必要【檜山】
  - (※新型コロナウイルス感染症対策)
- 道南地域の交通ネットワーク整備に向けた取組の推進
  - ・各交通機関の利用促進のため、交流人口の維持・拡大を図る
  - ・地域の特性を活かした着地型観光の推進による受入体制の整備【檜山】
- 世界遺産登録に向けた地域における機運醸成並びに観光資源としての活用の促進
  - ・地域内における世界遺産登録の認識を浸透
  - ・縄文文化の魅力を活用した地域・産業活性化の取組
- 障がいのある方などに配慮したバリアフリーレジャーの推進
  - ・これまでの取組で得られた知識・ノウハウの共有【檜山】

### ■北海道新幹線開業を強みとしたスポーツ合宿地としての魅力発信

- 競技関連施設や宿泊施設等の情報発信

## 次年度の取組(令和3年度)

### ■北海道新幹線開業を活かした青森・道南広域観光圏の形成

- 新幹線開業後PRイベント等の実施や青函広域観光エリアの情報発信
- 観光情報や観光商品をワンストップで提供できる観光地域プラットフォームの充実・強化
- 首都圏、東北圏等での食や観光情報のPR
  - ・ドライブ旅行向けマイクロツーリズムの推進
  - ・情報発信やオンライン商談会をテーマにした「デジカ」向上塾の開催
  - ・地産地消、食育、新商品などのPR活動の実施
  - ・様々な主体による津軽海峡交流圏の交流連携を促進
- 道南地域の交通ネットワーク整備に向けた取組の推進
  - ・アフターコロナに向けたインバウンド向け公共交通利用促進に関する課題・ニーズを踏まえた講習会の開催【渡島】
  - ・オール檜山による道外観光・物産プロモーション・国外での物産・観光プロモーション【檜山】
- 世界遺産登録に向けた地域における機運醸成並びに観光資源としての活用の促進
  - ・縄文文化及び遺産の理解を促進するフォーラム等の開催【渡島】
  - ・観光事業者を対象とした縄文文化の面白さを伝えるガイド力向上講座の開催【渡島】
- 障がいのある方などに配慮したバリアフリーレジャーの推進
  - ・誰でも障がいなく旅行できる受入体制の整備及び積極的なPRによる誘客促進【檜山】

### ■北海道新幹線開業を強みとしたスポーツ合宿地としての魅力発信

- 競技関連施設や宿泊施設等の情報発信
  - ・HPIによる情報の発信【渡島】

## 【KPIの状況】

	H26(基準値)	H27	H28	H29	H30	R1	R1(目標年)	進捗率
観光入込客数 (連携地域)	1,162万人	1,194万人	1,373万人	1,273万人	1,319万人	1,321万人	1,440万人	91.7%
(渡島地域)	1,062万人	1,092万人	1,267万人	1,171万人	1,204万人	1,201万人	1,320万人	91.0%
(檜山地域)	100万人	102万人	105万人	102万人	115万人	120万人	120万人	100%
	H26(基準値)	H27	H28	H29	H30	R1	R1(目標年)	進捗率
スポーツ合宿参加件数 (渡島地域)	265件	257件	286件	286件	353件	277件	290件	95.5%

# 未来へ続くたくましい農林水産業プロジェクト

道南連携地域

## 【概要・目的】

道南連携地域は、太平洋と日本海、津軽海峡に囲まれ、バラエティ豊かで特色のある農林水産物に恵まれています。米、馬鈴しょ、野菜、花き、酪農、畜産など地域ごとに特色ある農業、イカ釣り、ホタテやコンブ、アワビ・ナマコの増養殖など多種多様な漁業、トドマツ、スギなどの森林資源を活かした林業など、地域性を活かした農林水産業が持続的に展開されるよう生産強化に取り組むとともに、地域の関係者が連携し、独自性・優位性を有する多様な地場製品の付加価値の向上と販路拡大によりブランド化を進めていきます。また、農林漁業者の減少に対応した担い手の育成・確保やICT等の活用による作業の効率化・省力化を図る取組を進めます。

## 【施策展開】

### これまでの主な取組実績

#### ■ 農林水産業の強化とブランド化推進

- 高収益な農作物の生産拡大や新規導入の検討及びICT等を活用したスマート農業など最新技術の導入
  - ・ ICT等を活用した地域農業の新スタイルの提案【渡島】
  - ・ ハウス立径アスパラガスのIoT導入に向けた取組への支援及び新たに導入された高収益作物生産に係る生産技術指導支援を実施【檜山】
- 道南スギをはじめとする地域材の利用促進
  - ・ 地元大学生等を中心に、函館市内学生向けアパートの基本構想を検討する「学生アパートメント計画コンセプトワーク合宿」の開催【渡島】
  - ・ 建築関係者と連携し、産業まつりイベントでラックづくりによるPR活動を実施【檜山】
- 日本海などにおける増養殖漁業の推進拡大
  - ・ あわび養殖業を主体とした実証事業を実施し、養殖業と他の漁業を組み合わせた複合的経営の育成などを実施【檜山】
- 地域産品の発掘や新商品の磨き上げ、販路拡大のための取組推進
  - ・ 函館水産高校、調理製菓専門学校にプリを提供し、連携した缶詰の製造及びレシピ開発の実施【渡島】
  - ・ プリの新商品開発を検討する企業3社に、試作用原料を提供【渡島】
- 首都圏、東北圏等での食や観光情報のPR
  - ・ 首都圏における旅行商談会等、青函広域観光エリアの情報発信【渡島】

### 今年度の主な取組（令和2年度）

#### ■ 農林水産業の強化とブランド化推進

- 高収益な農作物の生産拡大や新規導入の検討及びICT等を活用したスマート農業など最新技術の導入
  - ・ ロボット技術及びICTを活用したスマート農業の普及拡大促進【渡島】
  - ・ 地域と連携してロボットトラクターによる可変施肥等の実演や立茎アスパラガスのハウス内環境制御試験を実施【檜山】
- 道南スギをはじめとする地域材の利用促進
  - ・ 異業種から結成された「木づかいプロジェクト検討委員会」による取組の発信【渡島】
  - ・ オンライン木育ワークショップの開催【渡島】
  - ・ 管内各町役場や檜山振興局のロビーで道南スギなど地域材に係る巡回ポスター展を開催【檜山】
- 日本海などにおける養殖漁業の推進拡大
  - ・ あわび養殖業を主体とした実証事業の実施【檜山】
  - ・ ニシン資源の造成、放流体制の確立に向けて、協議会が主体となり、道及び関係各町の支援の下、100万尾の稚魚生産及び放流を実施【檜山】
- 地域産品の発掘や新商品の磨き上げ、販路拡大のための取組推進
  - ・ 民間企業・教育機関等が連携して製造したプリのオイル漬け缶詰を活用したPRの実施【渡島】
  - ・ さらなるプリファンの獲得につなげるためのPRイベント及び料理教室の実施【渡島】
- 首都圏、東北圏等での食や観光情報のPR
  - ・ JR及び青森県等と連携した広域観光PR、教育旅行などのコーディネート人材の育成【渡島】

#### ■ 農林水産業の担い手対策の推進

- ICT等を活用したスマート農業の推進と高収益作物の生産強化
  - ・ 指導農業士会及び各町実務担当者を対象とした研修会
- 漁業や林業の現場体験学習などの実施
  - ・ 「農林漁業出前講座 in 八雲高校」の開催【渡島】
  - ・ 地元大学生等を中心に函館市内学生向けアパートの基本構想を検討する「学生アパートメント計画コンセプトワーク合宿」の開催【渡島】

#### ■ 農林水産業の担い手対策の推進

- ICT等を活用したスマート農業の推進と高収益作物の生産強化
  - ・ 農福連携の取組促進及び農業を支える担い手の育成・確保に資する取組
- 漁業や林業の現場体験学習などの実施
  - ・ 漁業関係者と新規漁業就業希望者とのマッチングフェアの開催【渡島】
  - ・ 新規漁業就業希望者を受入可能な漁家の調査の実施【渡島】
  - ・ 「木づかいプロジェクト検討委員会」による取組の発信【渡島】
  - ・ オンライン木育ワークショップの開催【渡島】

# 未来へ続くたくましい農林水産業プロジェクト

## 道南連携地域

### 今後の取組を進める上での主な課題

#### ■ 農林水産業の強化とブランド化推進

- 高収益な農作物の生産拡大や新規導入の検討及びICT等を活用したスマート農業など最新技術の導入
  - ・ 営農実態にマッチした農業技術導入のための実証及び検証【渡島】
  - ・ 農地の大区画化などの作業効率の向上に併せ、スマート農業技術の導入や担い手への農地集積も促進されることから、計画的な基盤整備事業が必要【檜山】
- 道南スギをはじめとする地域材の利用促進
  - ・ 人材育成を通じた木製品の開発等を進め、地域材の認知度向上を推進【渡島】
  - ・ 新型コロナウイルス感染症の予防対策を行いながら、効果的に地域材のPRを行う方法について検討が必要【檜山】
- 日本海などにおける増養殖漁業の推進拡大
  - ・ 管内の漁業生産が低迷していることから、養殖業を推進するとともに、付加価値向上に取り組み、漁業者の所得向上・維持を図ることが必要【檜山】
- 地域産品の発掘や新商品の磨き上げ、販路拡大のための取組推進
  - ・ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえた効果的なPR及び販売促進活動※
- 首都圏、東北圏等での食や観光情報のPR
  - ・ 新型コロナウイルス感染症により影響を受けた観光需要への対策※  
(※新型コロナウイルス感染症対策)

#### ■ 農林水産業の担い手対策の推進

- ICT等を活用したスマート農業の推進と高収益作物の生産強化
  - ・ 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた各種イベントの実施方法の検討※
- 漁業や林業の現場体験学習などの実施
  - ・ 新型コロナウイルス感染症の影響による雇用情勢の変化に対応した漁業就業の対策※  
(※新型コロナウイルス感染症対策)

### 次年度の取組(令和3年度)

#### ■ 農林水産業の強化とブランド化推進

- 高収益な農作物の生産拡大や新規導入の検討及びICT等を活用したスマート農業など最新技術の導入
  - ・ 省力化技術の調査・実証のほか、省力化セミナーの開催【渡島】
  - ・ ICT等を活用したスマート農業の実証及び普及促進【檜山】
- 道南スギをはじめとする地域材の利用促進
  - ・ 異業種から結成された「木づかいプロジェクト検討委員会」による取組の発信、開発製品及び森林認証材等の普及PR【渡島】
  - ・ 建築関係者向けに建材・建具のPRを行い、スギの地域利用拡大に取り組む【檜山】
- 日本海などにおける増養殖漁業の推進拡大
  - ・ 養殖事業が順調に進むよう、関係機関と連携しながら取組を推進【檜山】
- 地域産品の発掘や新商品の磨き上げ、販路拡大のための取組推進
  - ・ 道南産プリの消費拡大につなげる販促PR活動の積極的な展開
- 首都圏、東北圏等での食や観光情報のPR
  - ・ 教育旅行の現地調整を担う人材の育成研修の実施

#### ■ 農林水産業の担い手対策の推進

- ICT等を活用したスマート農業の推進と高収益作物の生産強化
  - ・ 地域の現状把握や要望等の集約のため、検討会議の開催
- 漁業や林業の現場体験学習などの実施
  - ・ 関係者と連携し、渡島管内において漁業就業支援フェアの継続実施【渡島】
  - ・ 「木づかいプロジェクト検討委員会」による取組の発信、開発製品及び森林認証材等の普及PR【渡島】

### 【KPIの状況】

		H26(基準値)	H27	H28	H29	H30	R1	R1(目標年)	進捗率
農林水産業新規就業者数	(連携地域)	110人	118人	88人	86人	103人	73人	126人	57.9%
	(渡島地域)	96人	99人	70人	62人	84人	55人	110人	50.0%
	(檜山地域)	14人	19人	18人	24人	19人	18人	16人	112.5%
		H26(基準値)	H27	H28	H29	H30	R1	R1(目標年)	進捗率
道南スギの道内向け年間製材出荷量	(渡島地域)	4,564m <sup>3</sup>	5,465m <sup>3</sup>	5,250m <sup>3</sup>	8,450m <sup>3</sup>	8,750m <sup>3</sup>	7,053m <sup>3</sup>	5,400m <sup>3</sup>	162.0%
		H26(基準値)	H27	H28	H29	H30	R1	R1(目標年)	進捗率
新たに養殖に取り組む漁業者数	(檜山地域)	—	11人	22人	27人	28人	29人	30人	96.7%

# 地域の強みを活かした産業活性化・雇用創出プロジェクト

道南連携地域

## 【概要・目的】

道南連携地域では、函館周辺地域に大学等の高等教育機関や試験研究機関等が集積しており、これらの機関と地域の企業等との連携による共同研究が進められています。また、北海道新幹線の函館北斗駅や函館空港、函館港等の国内外に開かれた交通・物流の拠点を有するほか、高規格幹線道路※等の高速交通ネットワークの形成も進められています。これらの強みを活かすべく、「食」や「観光」など、地域を支える産業の振興や企業誘致を推進するとともに、地元中小企業の事業活動の活性化を図り、若年層を中心とした地元への定着及び雇用の創出を図ります。

## 【施策展開】

### これまでの主な取組実績

#### ■ 地域の強みを活かした企業誘致の推進や地場産業の振興

- 産学官連携成果品や地域資源・立地条件の情報発信
- 地域資源を活用した食品産業などの企業誘致推進支援
  - ・渡島合同庁舎1階において産学官連携の成果品の展示【渡島】
  - ・地域未来投資促進法基本計画策定地域と情報交換を行うとともに、支援対象となりうる企業に幅広く周知【渡島】
  - ・立地企業フォローアップ調査の実施とともに、道及び町の優遇制度、空き地・空き物件情報といった企業立地情報を掲載しているホームページの更新【檜山】
- 1次・2次・3次産業間の連携や販路拡大支援などによる地場産業の振興
  - ・道南ワインアカデミーの開催
  - ・札幌市中央卸売市場消費拡大フェアに出展し、来場者へのプリフライ提供、レシピ集200部の配布及び管内水産加工業者製造のプリ燻製の試食【渡島】
  - ・函館水産高校、調理製菓専門学校にプリを提供し、連携した缶詰の製造及びレシピ開発の実施【渡島】

#### ■ 産業振興との一体的な展開による雇用の創出及び若年層の定着

- 農林水産業の新規就業者確保に向けた取組の推進
  - ・ICT等を活用した地域農業の新スタイル提案【渡島】
  - ・「農林漁業出前講座 in 八雲高校」の実施【渡島】
  - ・担い手育成・確保に係る研修会を関係機関と開催、新規就農の受入を先駆的に取り組む地域を対象に支援を実施【檜山】
- 企業に対する就業環境の改善支援と雇用者に対する地元企業の魅力発信
  - ・若者の地元産業就業定着に向けた企業見学バスツアー、企業向けセミナー及び地元のおしごと紹介フェアの実施【渡島】
  - ・渡島檜山地域中小企業支援ネットワーク会議により、各地域や機関における取組状況や課題、各支援メニュー等について情報共有を行い、各機関の連携強化の実施【渡島】
- 就業情報の発信と体験学習を通じた理解促進
  - ・就業促進イベントの出展及び各市町や漁協等と連携しウェブサイトによる情報発信の実施【渡島】

### 今年度の主な取組（令和2年度）

#### ■ 地域の強みを活かした企業誘致の推進や地場産業の振興

- 産学官連携成果品や地域資源・立地条件の情報発信
- 地域資源を活用した食品産業などの企業誘致推進支援
  - ・渡島合同庁舎1階において産学官連携の成果品を展示【渡島】
  - ・地域未来投資促進法計画策定地域との情報交換の実施とともに、関係リーフレットを市町に配布【渡島】
  - ・立地企業フォローアップ調査及び企業立地情報の発信【檜山】
- 1次・2次・3次産業間の連携や販路拡大支援などによる地場産業の振興
  - ・道南ワインアカデミーを開催
  - ・函館短大調理製菓専門学校と連携し、プリの料理コンテストの実施【渡島】
  - ・さらなるプリファンの獲得につなげるためのPRイベント及び料理教室の実施【渡島】

#### ■ 産業振興との一体的な展開による雇用の創出及び若年層の定着

- 農林水産業の新規就業者確保に向けた取組の推進
  - ・農林漁業出前講座や道南お仕事紹介フェアの開催【渡島】
  - ・地域就業者確保に向けた、渡島地域林業担い手確保推進協議会の取組促進【渡島】
  - ・産学官の20団体で組織する「檜山スマート農業振興研究会を設立【檜山】
  - ・女性農業者の活躍を支援する研修会や小学生を対象にした食育活動、高校生を対象とした職業としての農業に係る出前授業などを実施【檜山】
- 企業に対する就業環境の改善支援と雇用者に対する地元企業の魅力発信
  - ・食関連及び観光関連産業分野を対象とした企業向けセミナー及び個別相談会の実施【渡島】
  - ・企業見学会及び就職ガイダンスの開催【渡島】
  - ・地元のおしごと紹介フェアの開催【渡島】
- 就業情報の発信と体験学習を通じた理解促進
  - ・漁業関係者と新規漁業就業希望者とのマッチングフェアの開催【渡島】
  - ・新規漁業就業希望者を受入可能な漁家の調査の実施【渡島】

# 地域の強みを活かした産業活性化・雇用創出プロジェクト

道南連携地域

## 今後の取組を進める上での主な課題

### ■ 地域の強みを活かした企業誘致の推進や地場産業の振興

- 産学官連携成果品や地域資源・立地条件の情報発信
  - ・函館地域産業振興財団及び管内大学等との産学官連携事例に関する情報収集、展示内容の充実【渡島】
- 地域資源を活用した食品産業などの企業誘致推進支援
  - ・地域未来投資促進法に関する認知度の向上【渡島】
  - ・地域での創意工夫した企業誘致活動の促進【檜山】
- 1次・2次・3次産業間の連携や販路拡大支援などによる地場産業の振興
  - ・新型コロナウイルス感染症収束後の食の新たなマーケットを見越した事業展開の再構築※
  - ・新型コロナウイルス感染症対策を講じた上での効果的なPR及び販売促進活動の実施※  
(※新型コロナウイルス感染症対策)

### ■ 産業振興との一体的な展開による雇用の創出及び若年層の定着

- 農林水産業の新規就業者確保に向けた取組の推進
  - ・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた各種イベントの実施方法の検討※
  - ・林業担い手地域協議会での取組が、より効果的となるようなアプローチが必要【渡島】
  - ・新規就農の優良事例作成による、檜山の就農事例のモデル化【檜山】
- 企業に対する就業環境の改善支援と雇用者に対する地元企業の魅力発信
  - ・就職段階でのミスマッチによる早期離職の解消【渡島】
  - ・若者が地元で能力を十分に発揮することができる職場環境整備のための企業の意識改革【渡島】
- 就業情報の発信と体験学習を通じた理解促進
  - ・新型コロナウイルス感染症の影響による雇用情勢の変化に対応した漁業就業対策の実施※  
(※新型コロナウイルス感染症対策)

## 次年度の取組(令和3年度)

### ■ 地域の強みを活かした企業誘致の推進や地場産業の振興

- 産学官連携成果品や地域資源・立地条件の情報発信
- 地域資源を活用した食品産業などの企業誘致推進支援
  - ・渡島合同庁舎1階において産学官連携の成果品の展示【渡島】
  - ・地域未来投資促進法計画策定地域との情報交換の実施とともに、企業訪問時などに法制度の説明や支援策活用に関する指導助言の実施【渡島】
  - ・地域での創意工夫した企業誘致活動の促進【檜山】
- 1次・2次・3次産業間の連携や販路拡大支援などによる地場産業の振興
  - ・どさんこプラザを活用した縄文道南フェア等の開催
  - ・プリ缶詰マーケットの開拓のほか、新たな道南産プリ製品の開発【渡島】

### ■ 産業振興との一体的な展開による雇用の創出及び若年層の定着

- 農林水産業の新規就業者確保に向けた取組の推進
  - ・地域の農業者及び新規就農者との交流会の開催
  - ・地域就業者確保に向けた、林業担い手地域協議会の取組推進【渡島】
  - ・労働力不足に対応する先端技術を活用した農業の推進【檜山】
- 企業に対する就業環境の改善支援と雇用者に対する地元企業の魅力発信
  - ・食関連及び観光関連産業分野を対象とした企業向けセミナー及び個別相談会の実施【渡島】
  - ・企業見学会及び就職ガイダンスの開催【渡島】
  - ・地元のおしごと紹介フェアの開催【渡島】
- 就業情報の発信と体験学習を通じた理解促進
  - ・関係者と連携し、渡島管内において漁業就業支援フェアの継続実施【渡島】
  - ・新規漁業就業希望者を受入可能な漁家の調査の実施【渡島】

## 【KPIの状況】

		H26(基準値)	H27	H28	H29	H30	R1	R1(目標年)	進捗率
個別相談会等での具体的な商談打診件数	(連携地域)	50件 (累計50件)	55件 (累計105件)	55件 (累計160件)	66件 (累計226件)	55件 (累計281件)	207件 (累計488件)	260件 (H27~R1累計)	187.7%
		H26(基準値)	H27	H28	H29	H30	R1	R1(目標年)	進捗率
農林水産業新規就業者数	(連携地域)	110人	118人	88人	86人	103人	73人	126人	57.9%
	(渡島地域)	96人	99人	70人	62人	84人	55人	110人	50.0%
	(檜山地域)	14人	19人	18人	24人	19人	18人	16人	112.5%

# 地域で支え合う安全・安心なまちづくりプロジェクト

道南連携地域

## 【概要・目的】

道南連携地域は、北海道南西沖地震や駒ヶ岳噴火の大きな自然災害を経験しており、地域の自主防災組織の方々や地域防災マスター等のネットワークづくり、過去の地域の歴史から災害を学び明日へ活かす被災経験の伝承、防災活動に関する情報提供の充実などを通じて、地域の防災体制の向上を図ります。

また、地域医療機関の機能強化と連携により、効率的かつ質の高い医療提供体制と地域包括ケアシステムの構築を図るとともに、ライフステージに応じた子育て支援施策を展開し、安心して暮らせる環境を整備します。あわせて、救急患者の迅速な搬送にも有効である高規格幹線道路の整備を促進するなど、地域の生活基盤を確立し、道南の多様な魅力、特性を活かした移住・定住の取組を推進します。

## 【施策展開】

### これまでの主な取組実績

#### ■ 防災体制の向上と安全・安心なまちづくりの推進

##### ○ 地域防災体制の強化と住民の防災意識の向上

- ・ 渡島総合振興局・檜山振興局防災訓練実施(指揮室訓練を含む)
- ・ 防災関係機関の担当者会議及び陸上自衛隊第11旅団との勉強会等を活用し、各防災関係機関との情報共有
- ・ 土砂災害警戒区域等の指定に係る危険箇所の基礎調査
- ・ 土砂災害警戒区域等の指定

#### ■ 道南の多様な魅力を活かした生活・定住環境づくりの促進

##### ○ 就業情報と生活・住宅情報を一元化して発信

- ・ ホームページ等を活用した就業体験モニター事業の周知【渡島】

##### ○ 地域関係機関での移住・定住情報の共有

- ・ 管内市町と連携した「JOIN移住・交流&地域おこしフェア」の開催【渡島】
- ・ 移住・定住ガイドブックの作成【檜山】

##### ○ 地域包括ケアシステムの構築などによる高齢者福祉対策の推進

- ・ 地域包括支援意見交換会の実施【渡島】
- ・ アドバイザー派遣事業の活用による自立支援型地域ケア会議の効果充実【渡島】

##### ○ 医師・看護師など医療従事者確保に向けた取組の推進

- ・ 地域における看護師確保及び定着を図るため、セミナーを開催【檜山】

##### ○ ライフステージに応じた子育て環境整備の推進

- ・ 小規模ファミリーサポートセンターの立ち上げ等、安心して子どもを産み育てて行くための各種助成制度などによる支援【渡島】

##### ○ 障がい者などに配慮したバリアフリーレジャーの推進

- ・ 発達障がいのパネル展示やDVD放映等一般の方々への障がいに対する理解促進、障がい者福祉制度を周知・啓発【檜山】

### 今年度の主な取組(令和2年度)

#### ■ 防災体制の向上と安全・安心なまちづくりの推進

##### ○ 地域防災体制の強化と住民の防災意識の向上

- ・ 渡島総合振興局・檜山振興局防災訓練実施(指揮室訓練を含む)
- ・ 防災担当者会議の開催や、防災関係機関が実施する防災訓練等への参加を通じた情報、課題の共有
- ・ 住民説明会を実施し、土砂災害警戒区域等の指定を着実に推進

#### ■ 道南の多様な魅力を活かした生活・定住環境づくりの促進

##### ○ 地域関係機関での移住・定住情報の共有

- ・ 移住イベント「～みなみ北海道～渡島で暮らそう！」オンライン移住セミナー等の開催【渡島】
- ・ SNSを活用したフォトコンテストの開催【渡島】

##### ○ 地域包括ケアシステムの構築などによる高齢者福祉対策の推進

- ・ 市町及び地域包括支援センター職員等との意見交換及び研修機会の確保【渡島】
- ・ 町、保健所等の関係機関と連携した地域包括ケアの推進【檜山】

##### ○ 医師・看護師など医療従事者確保に向けた取組の推進

- ・ 地域における看護師確保及び定着を図るため、引き続きセミナーを開催【檜山】

##### ○ ライフステージに応じた子育て環境整備の推進

- ・ 小規模ファミリーサポートセンターの立ち上げを含め、安心して子どもを産み育てて行くための各種助成制度等の周知【渡島】

##### ○ 障がい者などに配慮したバリアフリーレジャーの推進

- ・ 「ひやまSHOWがウィーク」を実施し、発達障がいのパネル展示等を行い、一般の方々への障がいに対する理解促進、障がい者福祉制度を周知・啓発【檜山】

# 地域で支え合う安全・安心なまちづくりプロジェクト

## 道南連携地域

### 今後の取組を進める上での主な課題

#### ■ 防災体制の向上と安全・安心なまちづくりの推進

- 地域防災体制の強化と住民の防災意識の向上
  - ・ 自主防災組織及び地域防災マスターとの連携
  - ・ 土砂災害警戒区域等の指定に向けた住民説明会の実施、関係市町の協力・理解及び関係住民との合意形成

#### ■ 道南の多様な魅力を活かした生活・定住環境づくりの促進

- 地域関係機関での移住・定住情報の共有
  - ・ 新型コロナの感染状況に応じて、移住イベントの開催方法を検討する必要があるが、オンライン移住イベントは周知方法について検討が必要【渡島】※
- 地域包括ケアシステムの構築などによる高齢者福祉対策の推進
  - ・ 地域支援事業の取組状況は、各市町でばらつきがあるため地域での取組が推進されるよう、保健所等関係機関と連携し、各市町の地域特性に応じた支援の継続が必要
- 医師・看護師など医療従事者確保に向けた取組の推進
  - ・ セミナー開催の際には、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に努め、効果的かつ効率的な実施方法の検討【檜山】
  - ・ セミナー対象者への効果的な周知広報【檜山】
- ライフステージに応じた子育て環境整備の推進
  - ・ 小規模ファミリーサポートセンターの立ち上げを含め、事業制度の周知が必要【渡島】
- 障がい者などに配慮したバリアフリーレジャーの推進
  - ・ 一般の方々への障がいに対する理解促進、障がい者福祉制度の周知・啓発が必要【檜山】  
(※新型コロナウイルス感染症対策)

### 次年度の取組(令和3年度)

#### ■ 防災体制の向上と安全・安心なまちづくりの推進

- 地域防災体制の強化と住民の防災意識の向上
  - ・ 渡島総合振興局・檜山振興局防災訓練実施
  - ・ 地域防災マスター認定研修会及びフォローアップ研修会の実施
  - ・ 住民説明会を実施し、土砂災害警戒区域等の指定を着実に推進

#### ■ 道南の多様な魅力を活かした生活・定住環境づくりの促進

- 地域関係機関での移住・定住情報の共有
  - ・ 管内市町と連携した移住イベントの開催【渡島】
- 地域包括ケアシステムの構築などによる高齢者福祉対策の推進
  - ・ 町、保健所等の関係機関と連携した地域包括ケアの推進【檜山】
- 医師・看護師など医療従事者確保に向けた取組の推進
  - ・ 新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を万全に行い、オンラインによる夏季セミナー、冬季セミナー開催を検討【檜山】
- ライフステージに応じた子育て環境整備の推進
  - ・ 小規模ファミリーサポートセンターの立ち上げを含め、安心して子どもを産み育てて行くための各種助成制度等の周知【渡島】
- 障がい者などに配慮したバリアフリーレジャーの推進
  - ・ 就労支援事業所等による授産製品の販売の場を設け、障がい者の社会参加と自立促進を支援【檜山】

### 【KPIの状況】

		H26(基準値)	H27	H28	H29	H30	R1	R1(目標年)	進捗率
自主防災組織活動カバー率	(連携地域)	49%	54%	55%	57%	58%	60%	81%	74.1%
	(渡島地域)	49%	55%	55%	57%	58%	60%	81%	74.1%
	(檜山地域)	48%	53%	57%	57%	58%	58%	81%	71.6%
		H26(基準値)	H27	H28	H29	H30	R1	R1(目標年)	進捗率
ちょっと暮らしの利用者数	(連携地域)	153人	233人	191人	218人	222人	254人	220人	115.5%
	(渡島地域)	61人	110人	109人	112人	94人	129人	110人	117.3%
	(檜山地域)	92人	123人	82人	106人	128人	125人	110人	113.6%



# 次世代に引き継がれる環境づくりプロジェクト

## 道南連携地域

### 【概要・目的】

道南連携地域は、三方を海に囲まれ複雑で変化に富んだ海岸や土地総面積の約8割を占める森林、ラムサール登録湿地に指定された大沼があり、多様で豊かな自然環境に恵まれています。地域の基幹産業である1次産業を支えるこれら森林や河川、海の環境を守りながら、風力やバイオマスなどによる再生可能エネルギーの活用等により環境を重視した持続可能な社会づくりをすすめ、多様性のある豊かな自然と人が共生した地域社会の実現をめざします。

### 【施策展開】

#### これまでの主な取組実績

#### ■ 環境教育の推進

- 豊かな森林(もり)づくりのための木育活動の推進
  - ・地域住民に木育の推進を図るため、木育マイスター道南支部及び商業施設との連携を強化し、各種事業を実施
  - ・地域の植樹活動、木育イベント及び森への誘い講座の開催を通じた木育の裾野を広げる取組
- 檜山地域日本海グリーンベルト構想など、檜山の森づくり運動の展開
  - ・檜山地域日本海グリーンベルト構想に沿った「檜山の森づくり植樹祭 in あつさぶ」をはじめとする管内で開催された植樹祭・育樹祭の支援【檜山】
- 大沼の環境保全のための環境学習や啓発事業の実施
  - ・大沼ラムサール協議会総会への出席【渡島】
  - ・一般住民を対象とした道南全体で大沼の自然と利活用の調和について考える「大沼環境学習事業」の実施【渡島】
- ヒグマやエゾシカなどの野生鳥獣に対する適切な情報発信
  - ・一般住民を対象とした、「野生鳥獣の生態」について啓発する事業の実施【渡島】
  - ・渡島合同庁舎1階で啓発パネルを活用した普及啓発【渡島】

#### 今年度の主な取組(令和2年度)

#### ■ 環境教育の推進

- 豊かな森林(もり)づくりのための木育活動の推進
  - ・木育マイスター道南支部及び商業施設との連携による子育て世代やその子供たちへの木育の推進
  - ・オンライン木育ワークショップの開催による、木育の裾野を広げる取組の実施
- 檜山地域日本海グリーンベルト構想など、檜山の森づくり運動の展開
  - ・檜山地域日本海グリーンベルト構想に沿った「檜山の森づくり植樹祭 in いまかね」をはじめとする管内で開催される植樹祭・育樹祭の支援【檜山】
- 大沼の環境保全のための環境学習や啓発事業の実施
  - ・一般住民を対象に、道南全体で大沼の自然と利活用の調和について考えることを目的とした「大沼環境学習事業」の実施【渡島】
- ヒグマやエゾシカなどの野生鳥獣に対する適切な情報発信
  - ・一般住民を対象とした、「野生鳥獣の生態」について啓発する事業(パネル展)の実施【渡島】
  - ・渡島合同庁舎1階で啓発パネルを活用した普及啓発【渡島】

#### ■ 自然環境の保全と再生可能エネルギーの利活用促進

- 離島における森林資源循環利用
  - ・森林環境保全整備事業等により人工造林、下刈、間伐等を実施【檜山】
- バイオマスなどの再生可能エネルギーの利活用の推進
  - ・木質バイオマスのエネルギー利用の推進に向け、地域の関係者と連携し、森林環境保全整備事業により間伐を実施【檜山】

#### ■ 自然環境の保全と再生可能エネルギーの利活用促進

- 離島における森林資源循環利用
  - ・森林環境保全整備事業等により人工造林、下刈、間伐等を実施【檜山】
- バイオマスなどの再生可能エネルギーの利活用の推進
  - ・木質バイオマス原料の安定供給に向けて、地域の関係者と連携して原料の安定供給の構築を実施【檜山】

# 次世代に引き継がれる環境づくりプロジェクト

道南連携地域

## 今後の取組を進める上での主な課題

### ■ 環境教育の推進

- 豊かな森林(もり)づくりのための木育活動の推進
  - ・木育活動の強化には、今後、さらに教育機関及び木育の指導者である木育マイスター道南支部等との連携強化
- 檜山地域日本海グリーンベルト構想など、檜山の森づくり運動の展開
  - ・地域住民の緑化意識の醸成【檜山】
- 大沼の環境保全のための環境学習や啓発事業の実施
  - ・湖沼環境の保全には、水質ばかりではなく流域の環境を広く保全することが重要であり、これまで大沼の環境に対しあまり関心の無かった層への効果な啓発【渡島】
- ヒグマやエゾシカなどの野生鳥獣に対する適切な情報発信
  - ・生物多様性の保全及び野生鳥獣の管理・推進を目的に、一般住民の理解と協力が必要不可欠であり、普及啓発内容及び実施場所の検討【渡島】

## 次年度の取組(令和3年度)

### ■ 環境教育の推進

- 豊かな森林(もり)づくりのための木育活動の推進
  - ・北海道で開催される全国育樹祭を契機とした更なる育樹活動・木育活動の推進
  - ・新型コロナウイルス感染症対策を講じた新たな木育活動の推進
- 檜山地域日本海グリーンベルト構想など、檜山の森づくり運動の展開
  - ・檜山地域日本海グリーンベルト構想に沿った「檜山の森づくり植樹祭inおとべ」をはじめとする管内で開催される植樹祭・育樹祭の支援【檜山】
- 大沼の環境保全のための環境学習や啓発事業の実施
  - ・地元の団体等と連携し、研修会等による啓発の実施【渡島】
- ヒグマやエゾシカなどの野生鳥獣に対する適切な情報発信
  - ・渡島合同庁舎1階で啓発パネルを活用した普及啓発を実施するほか、庁外会場での開催の検討【渡島】

### ■ 自然環境の保全と再生可能エネルギーの利活用促進

- 離島における森林資源循環利用
  - ・森林整備を推進し、森林資源の島内循環利用を促進させるためには、間伐及び造林への支援【檜山】
- バイオマスなどの再生可能エネルギーの利活用の推進
  - ・木質バイオマス原料の安定供給に向けて、間伐等森林整備を促進【檜山】

### ■ 自然環境の保全と再生可能エネルギーの利活用促進

- 離島における森林資源循環利用
  - ・森林環境保全整備事業等により人工造林、下刈、間伐等を実施【檜山】
- バイオマスなどの再生可能エネルギーの利活用の推進
  - ・木質バイオマス原料の安定供給に向けて、地域の関係者と連携して原料の安定供給の構築を実施【檜山】

## 【KPIの状況】

		H26(基準値)	H27	H28	H29	H30	R1	R1(目標年)
道民との協働の森づくり事業参加人数	(連携地域)	5,800人	7,151人 (87.2%)	7,793人 (92.3%)	11,858人 (144.6%)	8,448人 (103.0%)	7,368人 (89.9%)	8,200人
	(渡島地域)	4,400人	5,649人 (85.6%)	6,579人 (96.3%)	9,439人 (143.0%)	6,866人 (104.0%)	5,635人 (85.4%)	6,600人
	(檜山地域)	1,400人	1,502人 (93.9%)	1,214人 (75.9%)	2,419人 (151.2%)	1,582人 (98.9%)	1,733人 (108.3%)	1,600人

# 振興局と町の協働による連携推進プロジェクト

## 檜山地域

### 【概要・目的】

檜山地域は、道内14振興局のうち最も人口が少なく、また小規模町のみで構成され、全国・全道を上回るスピードで人口減少・少子高齢化が進行しています。このような中、地域での自律・維持に向け、広域行政組織を核とした振興局と町による新たな連携に向けた取組を進めるとともに、管内の風光明媚な自然景観や文化歴史など、檜山の特色を活かし、新幹線開業に伴う首都圏などからの交流人口拡大を進めていくほか、日本海漁業をはじめとした1次産業の振興に向けた事業推進や、魅力あるまちづくりを目指し、連携した取組を進めます。また、町が将来にわたり地域行政サービスの維持・向上が可能となるよう、各町で人材不足にある技術専門職等の広域行政組織を通じた活用を検討するほか、振興局と町が相互に協力を補完しながら施策・事業を推進し、小規模自治体に対応した自治体連携の形成を目指します。

### 【施策展開】

#### これまでの主な取組実績

#### ■ 振興局と町の協力・連携による地域行政サービスの維持・向上

- 広域行政組織による振興局や各町の連携を推進するための仕組みの構築
  - ・ 就業体験モニターツアー実滞在型旅行商品開発に係る戦略の点検、検証及び商品のPR活動
  - ・ 観光客の受入体制整備のための人材育成研修
- 市町村連携地域の形成に向けたモデル事業の実施
  - ・ 歩くスキー大会、イングリッシュキャンプ等の教育振興推進事業の実施及び北海道産取引商談会の参加などの「食」と「観光」推進事業の実施
- 道と町の共通類似業務の一体的実施に向けた調査・検討
  - ・ 法制執務、情報システム及び産業医の3分野の取組を実施
- 広域行政組織による専門職等の活用に向けた検討
  - ・ 町からの要望に引き続き検討

#### 今年度の主な取組（令和2年度）

#### ■ 振興局と町の協力・連携による地域行政サービスの維持・向上

- 広域行政組織による振興局や各町の連携を推進するための仕組みの構築
  - ・ 広域連携の促進に向けた新たな取組の検討
  - ・ 広域連携事業推進のための仕組みづくり
- 市町村連携地域の形成に向けたモデル事業の実施
  - ・ モデル地域内の住民の相互交流を深めるため、地域の連携を促進する各種スポーツイベントを実施
  - ・ モデル地域のさらなる誘客促進を図るため、今金町、せたな町、八雲町、長万部町が連携した観光プロモーションを実施
- 道と町の共通類似業務の一体的実施に向けた調査・検討
  - ・ 法制執務、情報システム及び産業医の3分野の取組を実施
  - ・ 新たな協働について連携方策の検討を進める
- 広域行政組織による専門職等の活用に向けた検討
  - ・ 持続可能な地域づくりを進めるために、地域課題連携対応研究会を開催し、地域で連携して着手すべき諸課題について「広域連携前進プラン」を策定

#### ■ 振興局と町の協働による産業振興・交流人口の拡大

- 新幹線開業効果を活かした東京都特別区との交流連携の推進
  - ・ 東京都大田区にて食・観光のPRイベントの実施
- 振興局と町の協働による障がいのある方などに配慮したバリアフリーレジャーの推進
  - ・ バリアフリーレジャー事業の実施
- 交通アクセス向上に向けた振興局・町・交通事業者間の連携による広域観光の推進
  - ・ 観光協会や交通事業者、関係者間の情報共有のための「ひやまの観光をみんなで考える会」開催
- ICT(情報通信技術)を活用した特産品のPRなどによる販路拡大
  - ・ 地域におけるホームページ及びインスタグラムによるイベント、特産品の情報発信

#### ■ 振興局と町の協働による産業振興・交流人口の拡大

- 新幹線開業効果を活かした東京特別区との交流連携の推進
  - ・ 連携の促進に向けた新たな取り組みの検討
- 振興局と町の協働による障がいのある方などに配慮したバリアフリーレジャーの推進
  - ・ バリアフリーレジャー事業の実施
- 交通アクセス向上に向けた振興局・町・交通事業者間の連携による広域観光の推進
  - ・ 観光協会及び交通事業者等関係者間の情報共有のために「ひやまの観光をみんなで考える会」を開催
- ICT(情報通信技術)を活用した特産品のPRなどによる販路拡大
  - ・ ホームページ及びインスタグラムによるイベント、特産品の情報発信

# 振興局と町の協働による連携推進プロジェクト

## 檜山地域

### 今後の取組を進める上での主な課題

#### ■ 振興局と町の協力・連携による地域行政サービスの維持・向上

- 広域行政組織による振興局や各町の連携を推進するための仕組みの構築
  - ・ 地方創生交付金事業終了後の事業継続に向けた合意形成
- 市町村連携地域の形成に向けたモデル事業の実施
  - ・ 事業推進に向けた合意形成
  - ・ 域内事業者間の連携及びつながりのさらなる推進
  - ・ 民間事業者の持続可能な仕組み及び体制整備の推進
  - ・ コロナ禍における対策事業の推進
- 道と町の共通類似業務の一体的実施に向けた調査・検討
  - ・ 市町村協働ガバナンス事業の推進に向けた合意形成
- 広域行政組織による専門職等の活用に向けた検討
  - ・ 令和2年度から始まる新たな事業である「広域連携加速化事業」に即した取組の検討と合意形成

#### ■ 振興局と町の協働による産業振興・交流人口の拡大

- 新幹線開業効果を活かした東京都特別区との交流連携の推進
- 振興局と町の協働による障がいのある方などに配慮したバリアフリーレジャーの推進
  - ・ バリアフリー施設等に関する情報等は集約されつつあるが、高齢者や障がいを持つ方が実際に管内を旅行するに当たっては、障がい(バリア)レベルや身体特性に応じた細やかな情報提供が必要
  - ・ 宿泊施設や観光施設等における受入人員の体制整備においても、今後、観光客の高齢化に伴い増加するであろう、ニーズに対して継続的な人材育成が必要
- 交通アクセス向上に向けた振興局・町・交通事業者間の連携による広域観光の推進
  - ・ 地域の特性を活かした着地型観光の推進による受入体制の整備
- ICT(情報通信技術)を活用した特産品のPR等による販路拡大
  - ・ ホームページやInstagramによる情報発信効果の波及、発展

### 次年度の取組(令和3年度)

#### ■ 振興局と町の協力・連携による地域行政サービスの維持・向上

- 広域行政組織による振興局や各町の連携を推進するための仕組みの構築
  - ・ 広域連携の促進に向けた新たな取組の検討
  - ・ 広域連携事業推進のための仕組みづくり
- 市町村連携地域の形成に向けたモデル事業の実施
  - ・ モデル地域内の住民の相互交流を深めるため、地域の連携を促進する各種スポーツイベントを実施
  - ・ モデル地域のさらなる誘客促進を図るため、今金町、せたな町、八雲町、長万部町が連携した観光プロモーションを実施
- 道と町の共通類似業務の一体的実施に向けた調査・検討
  - ・ 法制執務、情報システム及び産業医の3分野の取組を実施
  - ・ 新たな協働について連携方策の検討を進める
- 広域行政組織による専門職等の活用に向けた検討
  - ・ 持続可能な地域づくりを進めるために、地域課題連携対応研究会を開催し、地域で連携して着手すべき諸課題について「広域連携前進プラン」を策定

#### ■ 振興局と町の協働による産業振興・交流人口の拡大

- 新幹線開業効果を活かした東京都特別区との交流連携の推進
- 振興局と町の協働による障がいのある方などに配慮したバリアフリーレジャーの推進
  - ・ 独自事業として事業展開
- 交通アクセス向上に向けた振興局・町・交通事業者間の連携による広域観光の推進
  - ・ 「ひやまの観光をみんなで考える会」の開催により観光協会や交通事業者等関係者間での情報共有、観光の取組のきっかけとする
- ICT(情報通信技術)を活用した特産品のPR等による販路拡大
  - ・ ホームページ及びInstagramによるイベント、特産品の情報発信

### 【KPIの状況】

		H26(基準値)	H27	H28	H29	H30	R1	R1(目標年)
振興局と町の協働連携事業	(檜山地域)	-	2事業	5事業	5事業	5事業	5事業	5事業
観光入込客数	(檜山地域)	100万人	102万人	106万人	102万人	115万人	120万人	120万人